

北海道胆振東部地震の影響により

第52回日本作業療法学会に事前参加登録していたにもかかわらず参加できなかった会員、 口述またはポスター発表を予定していたにもかかわらず演題発表ができなかった会員 への対応について

一般社団法人 日本作業療法士協会
会 長 中 村 春 基
学 会 長 宮 口 英 樹

この度の北海道胆振東部地震により被災された皆様には心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早く平穏な生活を取り戻されるようにお祈り申し上げます。

1. 事前参加登録費の返金について

事前参加登録を完了していたにもかかわらず参加が確認できなかった会員のうち、北海道に在勤・在住されている皆様には、運営事務局より事前参加登録費返金のご連絡をさせていただいております。万が一、該当される方で連絡が届いていない方がいらっしゃいましたら、日本作業療法士協会までご連絡いただけますようお願いいたします。

2. 未発表演題の取り扱いについて

今般の地震の影響により第52回日本作業療法学会において発表できなかった演題の取り扱いおよび今後の学会における大規模災害等の不可抗力により学会発表できなかった採択演題の取り扱いについては、平成30年度第4回定例理事会で審議されましたので、その結果と今後の対応についてご報告いたします。

【審議の背景】

大規模災害の影響により発表できなかった演題の取り扱いについて、現状（現行規程）では明確な取り決めがない。会員からの問い合わせもあるなかで、発表業績として認めない場合には他学会への発表を検討する会員もいると考えられたので、早急に方針を提示する必要がある。そのため、他学会における対応（別紙資料）も参考にしうえて、まずは「第52回日本作業療法学会における北海道胆振東部地震の影響による未発表演題の取り扱い」に限定し、学会運営委員会としての対応案を提出した。

【提案内容】

他学会における対応をみると、災害があったにもかかわらず開催が成立した学会においては、参加費の徴収と抄録集の配布を条件に発表を認めているケースが多い。また、開催中止となった学会においてもその傾向がみられる。

第52回日本作業療法学会においては、

- ①今般の地震により参加が叶わなかった会員にはすでに参加費を返金していること
- ②抄録集（データ）はこれから修正を行い、学術データベース（ホームページ）に掲載することになる

こと

を勘案し、今般の地震の影響により発表できなかった演題は業績としては認めないこととしたい。なお、今後も同様の事態が起こる可能性があるため、学会自体の成立や被災時の参加者の状況といった条件も踏まえて、規程として定めるべく条項を学会運営委員会にて検討したい。

【審議経過】

上記提案がなされ、学術団体として学会発表をどのように考えるかについて意見交換が行われた。以下に主な意見を挙げる。

- 1) 口述発表及びポスター発表には質疑に時間を取っており、質疑応答の機会があることが重要である。質疑応答の機会がないままに発表実績として認めるのは、発表者にとって不利益になるのではないか。
- 2) 他学会における対応をみると、災害があつたにもかかわらず開催が成立した学会においては、参加費の徴収と抄録集の配布を条件に発表を認めている。本学会においては、既に参加費の払い戻しを行っている。
- 3) 未発表の演題は、北海道胆振東部地震による交通災害によるもので、発表者の個人的な原因でないことと、施設内での予行会等で質的には担保されているのではないかな等を考慮して発表実績として認めるべきでないか。
- 4) 日本作業療法学会でなくても他の学会に発表する機会はある。
- 5) 4) に対して、多くの発表者は日本作業療法学会での発表を目標としているのであり、臨床家の発表者にとって他学会での発表は現実的ではないのではないか。
- 6) 未発表となつたのは不可抗力によるものであり、認めるべきではないか。

【採決の結果】

これらの意見が出され、発表演題として認めるか認めないかについて採決が行われた。結果、原案どおり「未発表演題は業績として認めない」が賛成多数により可決された。

【今後の対応】

今後も同様の事態が起こる可能性があるため、学会自体の成立や被災時の参加者の状況といった条件も踏まえて、大規模災害等の不可抗力により学会発表ができなかった採択演題の取り扱いを規程に定めるべく、条項を学会運営委員会にて検討することが了承された。

最後に、今回、不可抗力により演題発表ができなかった会員におかれましては様々なご意見があろうかと思いますが、学術団体としての基本に立ち返り、このような結論を出させていただきました。宜しくご理解を賜りたく存じます。

未発表となりました43演題につきましては、他学会及び次年度日本作業療法学会に未発表の研究としてご応募いただくことができます。提出いただいております抄録につきましては、抄録データベースには掲載されませんのでご承知おきください。これらの演題が知的財産としてさらに進化・発展し、日本の作業療法の学術的発展と国民の健康に寄与されることを切に願っています。